

## 第4回 第3期掛川市教育振興基本計画策定委員会 議事録

日 時	令和7年12月24日（水）午後2時～4時
場 所	掛川市役所4階会議室1AB
出 席	<p>委 員 9名 (庁外)</p> <p>委 員 教育長、こども希望部長、教育部長、生涯学習まちづくり部長、 (庁内) 企画政策課長、こども保育支援課長、こども相談課長、 こども給食課長、協働推進課長、文化・スポーツ振興課長、図書館長</p> <p>(欠席) 経営企画部長、財務部長、学校教育課長</p> <p>事務局 教育政策課長、主幹兼教育政策係長、教育政策係指導主事(2名)、 教育政策係主事</p>
協 議 内 容	
1 開 会	
2 教育長あいさつ	
3 委員長あいさつ	<p>資料を見ると、キーワードが洗練されてきている。</p> <p>海外のヒューマノイドが来年度から商品化、販売される。人間のように掃除や洗濯もする。</p> <p>日本でもコンビニのレジロボットのようなものを作って販売を予定している。</p> <p>人材不足にはとても有効。学校教育にどのように活用されていくか。</p> <p>ヒューマノイドがいくら優秀であっても、メジャーリーグの大谷のように活躍しても感動しない。</p> <p>人間は、大谷選手の尊敬やこれまでの努力を共感し、憧れがあって感動する。</p> <p>それはヒューマノイドにはできない。人がやるから価値があることもある。</p> <p>時代の変化が激しいため、10年間の計画であっても2.0のような形でタイムリーにアップデートが必要で、柔軟かく受け止めていかなければならない。</p> <p>教育界は変えるということにとっても抵抗がある。</p>
4 報告事項	
(1) 第3回策定委員会の内容について【資料1】	<p>【事務局より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回策定委員会議事録について説明</li> </ul>
(2) 「こえのもりしずおか」について【資料2】	<p>【事務局より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こえのもりしずおか」のフィードバックについて説明</li> </ul>
5 議 事	
(1) 「第2期教育振興基本計画の成果と課題(案)」について【資料3】	<p>【事務局より】</p>

- ・「第2期教育振興基本計画の成果と課題（案）」について説明

【意見交換】

委員：来年1月24日に報徳社を会場として、地域フォーラムが開催される。環境省の方と石川副市長が基調講演を行い、やさいバス食堂の加藤さん、時の寿の森クラブ松浦さん、報徳社が事例報告を行う。掛川市の生涯学習のポテンシャルを評価していただき、東京から掛川に会場を移して開催したいと言ってくれた。これまでの掛川市の取り組みが外から見て評価されたと感じており、感動した。

委員：スッキリまとまってきている。

地域クラブのところで「多種多様な地域クラブを公認」、「多種多様な地域クラブの創設を支援」、「受け皿となるクラブの創設準備」と3段階で書いてあり、違いがわかりにくいので、「多種多様な地域クラブ」と「かけがわ地域クラブ」を使い分けてほしい。

最後の「創設の支援」と「創設の準備」なども、もう少しわかりやすくしたい。

課によってボリュームが違う。特に学校教育は書くことが多く、主語をハッキリ立てないと、接続詞を多く使わなければならないため、そこを意識してもらいたい。

(2) 「第3期教育振興基本計画の基本目標」について【資料4】

【事務局より】

- ・「第3期教育振興基本計画の基本目標」について事務局より説明

【意見交換】

委員：10ページで質問。※の自分らしさとあなたらしさの解説のところで、「あなたらしさ」の方に「自分らしさ」という言葉が入っており、あまりピンとこなかった。自己と他者ということで、これらの言葉が選ばれていることはわかるが、あなたらしさの方に自分らしさを入れていることはどういう意味なのか教えてほしい。

事務局：他者から見ることによって新たに知る自分らしさ。子どもたちは、学校現場の中でも自分では気づかない自分らしさを出会いの中で知っていくということでこの言葉を入れている。

委員：説明を聞くとわかるが、資料だけ見た人がそこまで汲み取るのは難しいのではないか。

委員：第2期の計画においては、基本方針が3つあった。今回の基本目標はその代わりか？

事務局：代わりではなく、計画の大元になるもの。基本方針は大綱からきているもの。大綱は現在作成中のため、大綱から出てくる言葉が3つ入ってくる。それを受けてこの基本目標を作ろうとしている。

委員：その1～その3は、1つ1つが独立した案ということか。

事務局：3つのカテゴリーで分け、上段、中段、下段としてそれぞれその1、その2、その3となっている。

委員：最終的には1つの文になるため、最終形を考えた時に1つ1つが長すぎると思う。それぞれの案がいいのかはイメージがつくが、くっつけた時のことを考えなければならないため、難しいと思う。

事務局：よりシンプルにわかりやすく伝わるのが一番だと思う。あくまで例、案であるため、この方法がより伝わりやすいというご意見もいただければと思う。

委員：その1とその2はそれぞれのワードは違うとはいえ、方向性は変わらない。好みの範疇。その3は、共創と舵取りは明確に意味合いが異なるため、方向性に影響する。

舵取りが多くいるよりも、これからの時代は強力なリーダーシップと同時に、チームワーク型のリーダーが求められている。自分の意見は持ちつつも、他人の意見を上手に取り込みながら、1人では成し遂げられない大きな達成を実現できる人物として、共創が適していると思う。

委員：自分も共創の方がいいと思う。基本目標があり、その下に基本方針が3つあり、それが連動

している。基本方針も次の具体的なところに繋がるよう連動していると思う。今回の案は、同じようなことを言っているイメージを持ったため、最終的にどんな施策をしていくのかということに連動していないといけない。やはり、下に来るコンセプトを伝えてもらえないとこれで本当にいいのかと気になっている。

委員：その2の中で「多様性」という言葉が出ている。報徳社の常会で色々な価値観の人に講演を行ってもらおうと思ひ、トランスジェンダーの人をお願いしたら断られた。なぜかと言うと、人権と道徳は全く別物であり、多様な人の中には、かつて道徳の範疇に含まれなかった人もいる。特に、トランスジェンダーの人は道徳から見るとダメな人だと思われてきてのだろうと思った。報徳社でも「道徳と経済」と言っているが、そういったところが逆に作用してしまい、避けられている部分があり、正直ショックであった。多様という言葉は難しい。道徳がそういう人たちの人権を迫害しないよう、新たな、挑戦的な意味合いで多様性という言葉を使うことに意義があるなど感じている。

委員：基本方針はほぼ決まりか？率直な印象で、「未来を見据えた」と言ったらまちづくりの方が広くて大きくていいと思うし、「学びと育ちを支える」と言ったら、まちづくりよりも環境づくりがいいかなと思った。それが今後どうなっていくのかももう少しわかると嬉しい。

事務局：最上位計画の総合計画、教育の方針を決める教育大綱は市長部局の企画が所管している。これと同時進行で作成しており、相互に補完しながら走っている。会議では、ある程度の方針を決めていただければ合わせることができる。詳細まで決めてしまうと異なってしまう場合が出てきてしまう。

「共創」と言う言葉は総合計画では根幹の部分に入ってくる。色々な主体が同じ目標を持って進んでいくようなイメージが次の基本となる。先ほどの、舵取りよりも共創の方がいいよね、その2の多様性の部分はくどいよね、といった意見をいただくとありがたい。

また、「舵取り」はリーダー的な意味合いではなく、私は私として生き方を決める舵取りのようなイメージ。

委員：先ほどの青木委員が言ったように、その2は例にある価値観の方が受け入れやすいと思った。多様な人たちだと、逆撫でするような感じを取られる人もいるのかなと思う。例に挙げている3つを基本として、大綱とすり合わせしていけばいいかなと思う。

委員：その1は下2つが部分的に限定されているため1番上、その2は価値観という言葉が全部含んでいると思ったので1番下、その3は共創という言葉があっただけ上にするとういと思う。

委員：例の形が一番いいと思う。

委員：では、例に挙げている3つを基本として調整していただきたい。

### (3) 「第3期教育振興基本計画の各分野の基本目標（案）」について【資料5】

#### 【事務局より】

- ・「第3期教育振興基本計画の各分野の基本目標（案）」について事務局より説明

#### 【意見交換】

委員：4生涯教育について、生涯教育という言葉はあまり聞かない。社会教育か生涯学習であって、文科省もこの言葉は使っていない。生涯教育を使った議論の経緯を教えてほしい。

事務局：事務局より説明。（旧掛川市の生涯学習は全ての行政の上にあるという概念から、全てを教育委員会の1分野に位置づけるのは難しいため、生涯学習でも社会教育でもない生涯教育）

委員：4行目、生涯教育は聞きなれない言葉であるため、「生涯教育において～」のところを「生涯学習の理念をベースに生涯に渡って能動的に学び続けるため～」など、生涯教育を説明するような言葉が入った方が分かりやすいのではないか。

委員：1と4では、同じ意味合いのことが規模感の違いで標記されているように見える。1と4が並列構造になっている印象がある。

3の目標が「夢や希望に向かい」⇒「夢や希望を抱き」の方が適切ではないか。

(4) 「第3期教育振興基本計画の基本目標及び施策（案）」について【資料6】

【事務局より】

- ・「第3期教育振興基本計画の基本目標及び施策（案）」について事務局より説明

【意見交換】

委員：「※」があるのは用語解説があるということでいいか。「園・小中一貫教育学舎計画」の言葉の定義をもう一度説明していただきたい。

事務局：用語について説明。

委員：資料7の各論と連動してくるが、園、小中一貫教育の色合いが強いのか。

事務局：事務局より説明。（学校再編計画のハード面、中学校区学園化構想のソフト面を合わせ、小中一貫の教育が実現する学び舎が構想ではなく完成することから学舎計画となる）

委員：そうすると、施策の3と4に分けられていることが気になった。

事務局：もう少し表現の仕方を検討する。

(5) 「第3期教育振興基本計画の各論（案）」について【資料7】

【事務局より】

- ・「第3期教育振興基本計画の各論（案）」について事務局より説明

【意見交換】

委員：評価指標について、乳幼児教育の3「安全・安心な園環境の整備」と学校教育の5「安全・安心な教育環境の整備」だけ評価指標が設定されていない。これは指標がおけないということか。

事務局：設定が難しい。けがをした子の数や保険料の請求なども考えたが、これと言う指標が無い。専門の方とも話をし、無理矢理設定するなら辞めた方がいいという判断。何をもって安全とするか、設備に関してはベストが見つからないため、設定していない。

委員：説明でよく理解できたが、それを言うと、他の指標についても意味のある指標の設定が必要。

委員：乳幼児教育の2段落目、安心と挑戦の循環の説明。もう少し精査が必要。安心と挑戦の循環という言葉は、大事だがわかりにくいと思うので、もう少し端的な方がいい。

3ページ目の2、現状の課題が書かれていない。

学校教育の2「豊かな感性、健やかな心身の育成」では、「達成感や学び続ける意欲を高める工夫が必要です」とあって、昔から続く「頑張る」や「努力」のような書き方なので、本当にこれでいいのかと思った。どちらかと言うと、健康教育や運動を通じた健康増進の意識など、今風に変えていってもいいのではないか。

委員：評価指標について、適切な評価指標もあれば、この評価指標だけで全てをみなしてしまうのは難しいと思うところもある。具体的には、学校教育の2の成果指標ではカバーしきれていないのではと思う。意味の無い指標であれば設定しない方がいいということであれば、もう一度、全体の見直しが必要ではないか。

委員：用語解説が間に合えば、5回目の委員会で見せてほしい。

委員：生涯教育としてまとめていただき、わかりやすくなっていると思う。社会教育というのは理解しづらい中で、この教育振興基本計画とどう絡めていくのかがイメージつきづらいところもあったが、生涯教育として生涯学んでいくという観点から見ると、ストンと落ちるものがある。

主要事業の太字がわかりづらい。また、重点事業とした理由はどこかに記載があるのか。

事務局：重点事業とした理由は今までも記載が無い。

委員：設定した理由は何か。

事務局：担当課の判断（申告）となっている。本当の主要な事業は部として当然◎をつけるが、例えば図書館のレファレンスサービスなどは、掛川市が誇っているものであり、それを前面に出したいという話があれば、◎をつける事業もある。予算規模などでも客観的に◎だろうという事業もあるが、基本的には担当課の判断となる。

## 6 その他

### (1)パブリックコメントの実施

令和8年1月16日（金）から2月16日（月） 32日間を予定

### (2) 今後のスケジュールについて

#### ・第5回策定委員会

ア 日 時 令和8年2月18日（水）午後2時～4時

イ 場 所 市役所4階会議室1

ウ 内 容 第3期教育振興基本計画案の協議

## 7 閉 会